

【倫理意識調査報告書2006】

金銭の倫理に関する意識調査報告書

ライブドアショック直後における日本人の金銭観を探る

調査概要

調査目的

- ・「正しいお金の使い方」≡「善いお金の使い方」を証明するため、金銭倫理意識構造を「お金現象主義」と「お金プラグマティズム」を軸に把握すること。

調査設計

- ・調査エリア 全国
- ・調査方法 インターネット調査
- ・調査日時 2006年8月24日(木)～8月28日(月)
- ・対象者条件 10代～60代以上の一般男女個人 ※「10代」はモニターの特性上15歳以上を対象とする。
- ・サンプル構成 1200サンプル
- ・割付

	サンプル数	男性		女性	
		都市	地方	都市	地方
全体	1200	300	300	300	300
【年代別】					
10代	200	50	50	50	50
20代	200	50	50	50	50
30代	200	50	50	50	50
40代	200	50	50	50	50
50代	200	50	50	50	50
60代以上	200	50	50	50	50

(人)

◆「都市」と「地方」について

今回調査では現居住エリアが政令指定都市であれば『都市』、それ以外を『地方』とした。

※参考 政令指定都市一覧 ※2006年9月1日現在

北海道札幌市 | 宮城県仙台市 |
埼玉県さいたま市 | 千葉県千葉市 | 東京都23区 |
神奈川県横浜市 | 神奈川県川崎市 |
静岡県静岡市 | 愛知県名古屋市 |
京都府京都市 | 大阪府大阪市 | 大阪府堺市 | 兵庫県神戸市 |
広島県広島市 |
福岡県福岡市 | 福岡県北九州市 |

10の金銭に関する倫理コンセプト評価

※表中のマーカ―

◎印:全体に比較して10ポイント以上高い

○印:全体に比較して5ポイント以上高い

▽印:全体に比較して5ポイント以上低い

▼印:全体に比較して10ポイント以上低い

II-1. 倫理10コンセプト評価(2指標サマリー)

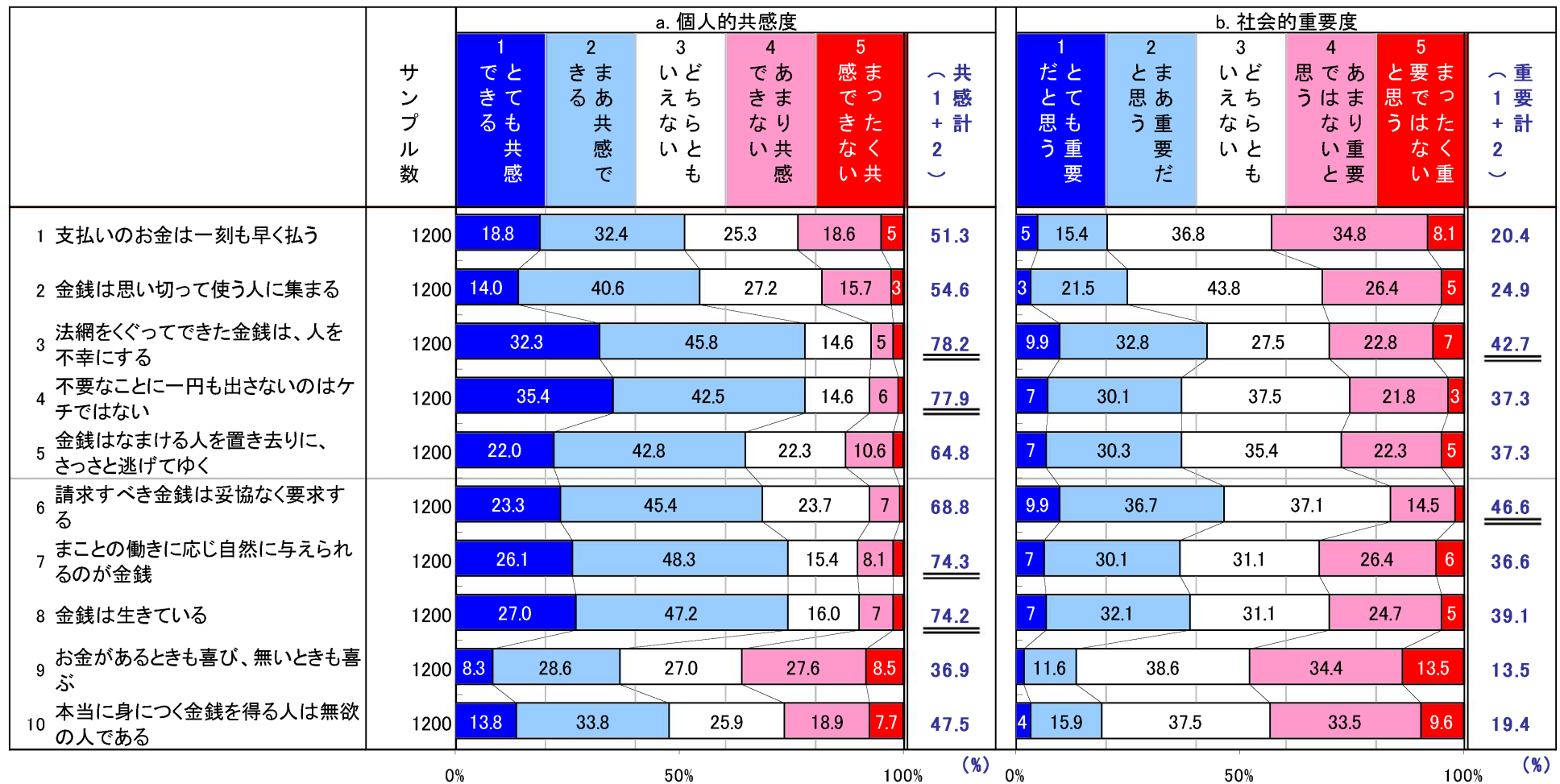
【個人的共感度】

■個人的共感度に関しては、「3.法網をくぐってできた金銭／4.不要なことに一円も／7.まことの働きに応じ／8.金銭は生きている」が他の倫理コンセプトと比較し高い反応率を示している。また、「9.お金があるとき」「10.本当に身につく」は過半数に満たない。また個人的共感度、社会的重要度共に「3.法網をくぐってできた金銭」が高い水準の反応を示している点が特徴的。

【社会的重要度】

■社会的重要度においては、全項目が共感度にならべて低い。社会的重要度では「6.請求すべき金銭」「3.法網をくぐってできた金銭」が他のコンセプトに比較し高い。

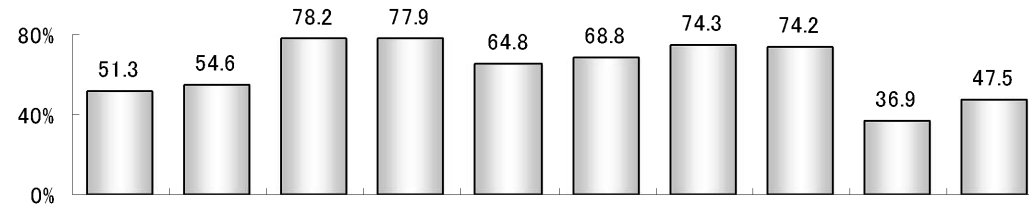
<全体ベース>



II-2. 倫理10コンセプト 個人的共感度 ①

- 「10.本当に身につく金銭」に対する反応が男性に比較して女性で高い以外は、性別による差異はあまり認められない。
- 男女とも60代以上は、全体と比較して反応率が高い。特に男性60代以上は全体と比較し全項目で5ポイント以上高い。
- 「男性30代」では「1.支払いのお金／3.法網をくぐってできた金銭／6.請求すべき金銭」、「男性40代」では「2.金銭は思い切って／10.本当に身につく金銭」が全体と比較し10ポイント以上低い点特徴的。
- 倫理セグメント「矛盾派」の反応率が他のセグメントと比較し総じて高い。また、「拒否派」の「10.本当に身につく金銭」に対する反応率が、全体を10ポイント以上上回る点特徴的。

＜全体ベース＞



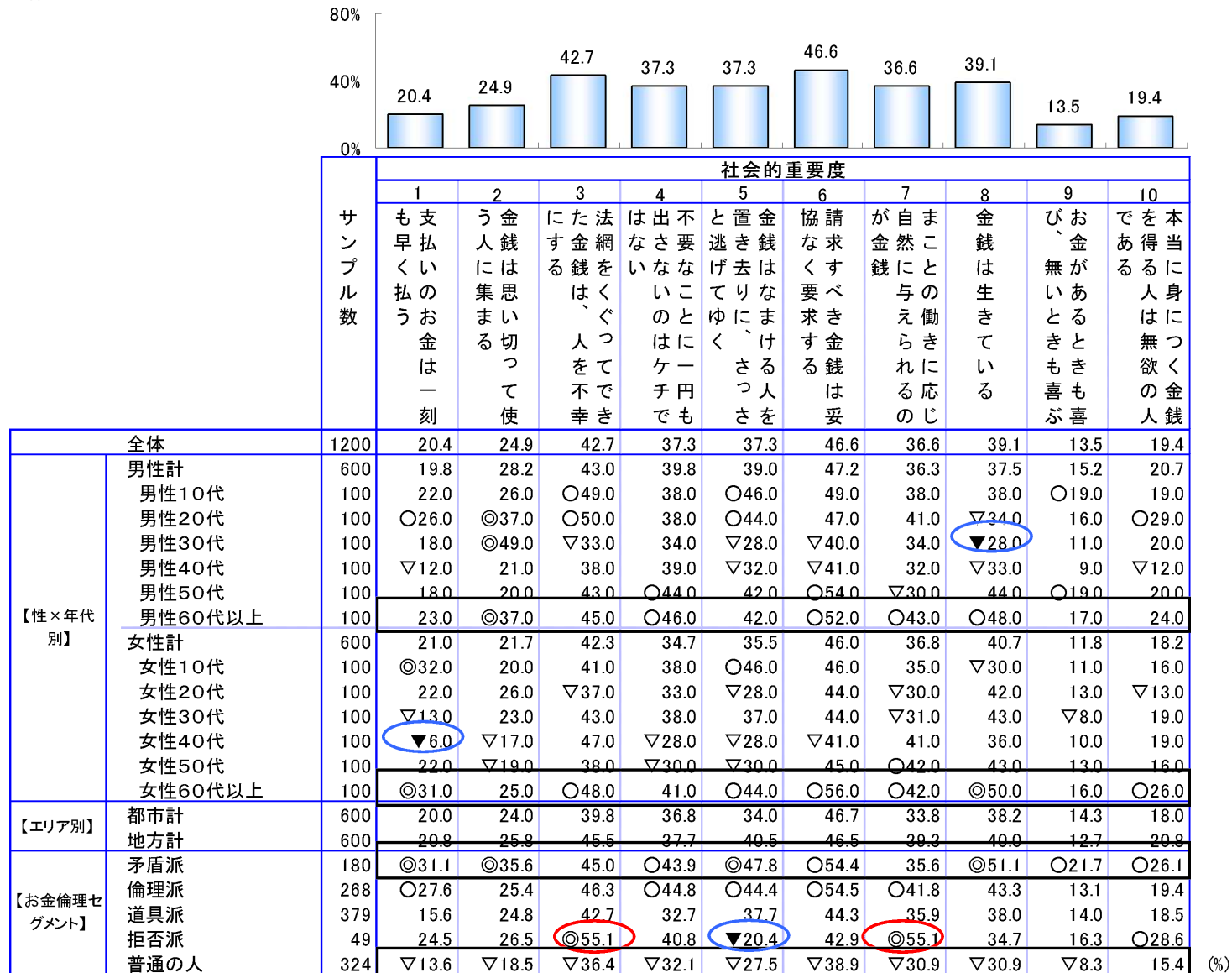
			サンプル数	個人的共感度									
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				も早く払うお金は一刻	う金人には集まる切って使	にた法網をくぐつて不でき	は出さないのにはケーチ円でも	と置逃げたりにくさる人さを	金銭は必要すき金銭は妥協なく要求する	が自然に与えられのじ	金銭は生きている	び、金があるときも喜ぶ喜	で本当に人身に無欲の金人銭
全体			1200	51.3	54.6	78.2	77.9	64.8	68.8	74.3	74.2	36.9	47.5
【性×年代別】	男性計		600	50.3	53.5	74.8	78.7	64.0	68.5	72.8	71.2	37.5	43.5
	男性10代		100	▽44.0	▽46.0	▽73.0	75.0	62.0	73.0	▽66.0	▼57.0	36.0	▽38.0
	男性20代		100	52.0	○62.0	▽69.0	77.0	62.0	○75.0	71.0	▽67.0	34.0	▽40.0
	男性30代		100	▼40.0	▽49.0	▼68.0	78.0	▽56.0	▼57.0	70.0	▽68.0	34.0	▽40.0
	男性40代		100	▽43.0	▼42.0	76.0	79.0	▽57.0	66.0	73.0	▽67.0	32.0	▼37.0
	男性50代		100	56.0	▽48.0	▽72.0	78.0	67.0	66.0	71.0	75.0	○43.0	49.0
	男性60代以上		100	◎67.0	◎74.0	◎91.0	○85.0	◎80.0	○74.0	◎86.0	◎93.0	○46.0	○57.0
	女性計		600	52.2	55.7	81.5	77.2	65.7	69.0	75.8	77.2	36.3	51.5
	女性10代		100	51.0	▼40.0	76.0	○83.0	68.0	69.0	▽68.0	▼60.0	▽27.0	43.0
	女性20代		100	48.0	57.0	79.0	76.0	61.0	◎79.0	71.0	72.0	▽30.0	▽42.0
	女性30代		100	49.0	52.0	79.0	78.0	▽59.0	▽60.0	78.0	○80.0	35.0	47.0
	女性40代		100	▼40.0	58.0	○88.0	75.0	64.0	69.0	74.0	79.0	39.0	50.0
	女性50代		100	○57.0	57.0	80.0	▽71.0	66.0	70.0	○84.0	○81.0	36.0	◎60.0
	女性60代以上		100	◎68.0	◎70.0	○87.0	80.0	◎76.0	67.0	○80.0	◎91.0	◎51.0	◎67.0
【エリア別】	都市計		600	52.3	56.5	79.0	78.2	62.0	69.7	72.5	73.7	37.5	44.3
	地方計		600	50.2	52.7	77.3	77.7	67.7	67.8	76.2	74.7	36.3	50.7
【お金倫理セグメント】	矛盾派		180	◎61.7	◎68.9	78.3	78.9	◎78.3	○75.0	77.8	○82.2	○46.7	○52.8
	倫理派		268	53.0	53.4	75.4	79.1	67.9	71.6	73.1	75.4	32.8	46.3
	道具派		379	48.0	54.4	81.5	79.7	61.5	70.2	75.2	76.0	40.9	48.5
	拒否派		49	55.1	○61.2	81.6	79.6	▽57.1	65.3	75.5	▽67.3	○44.9	◎59.2
	普通の人		324	47.2	▽46.9	75.9	74.1	59.9	▽61.7	72.2	▽67.6	▽29.0	42.6

※表中の数値は倫理10コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」と回答した比率を表わす。

II-2. 倫理10コンセプト 社会的重要度 ①

- 個人的共感度と同様に、60代は男女問わず全体と比較して反応が高い。
- 男性30代では、「8.金銭は生きている」。女性40代では、「1.支払いのお金」が全体と比較し10ポイント以上低い点が特徴的である。
- 倫理セグメントでは、「矛盾派」が全体と比較し総じて高い。逆に「普通の人」は全体と比較し総じて低い。
- 「拒否派」では、「3.法網をくぐってできた金銭/7.まことの働きに応じ」が全体と比較して10ポイント以上高く、また「5.金銭はなまける人を」が全体と比較して10ポイント以上低い点が特徴的。

〈全体ベース〉

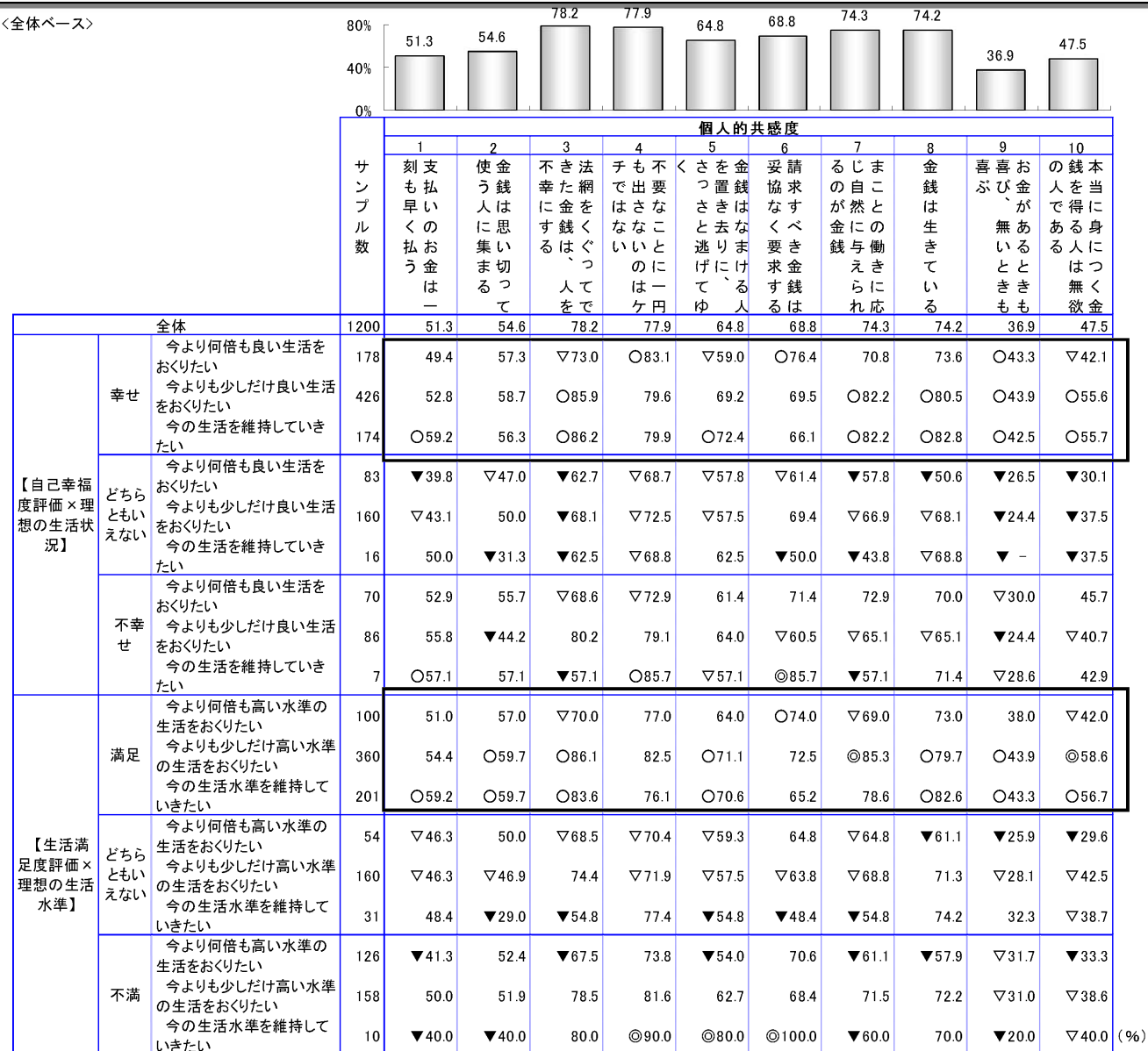


※表中の数値は倫理10コンセプトに対して「とても重要だと思う」または「まあ重要だと思う」と回答した比率を表わす。

II-2. 倫理10コンセプト 個人的共感度 ②

■「自己幸福度×理想の生活状況／生活満足度×理想の生活水準」共に、全体と比較して「幸せ／満足」の反応が高い。

〈全体ベース〉

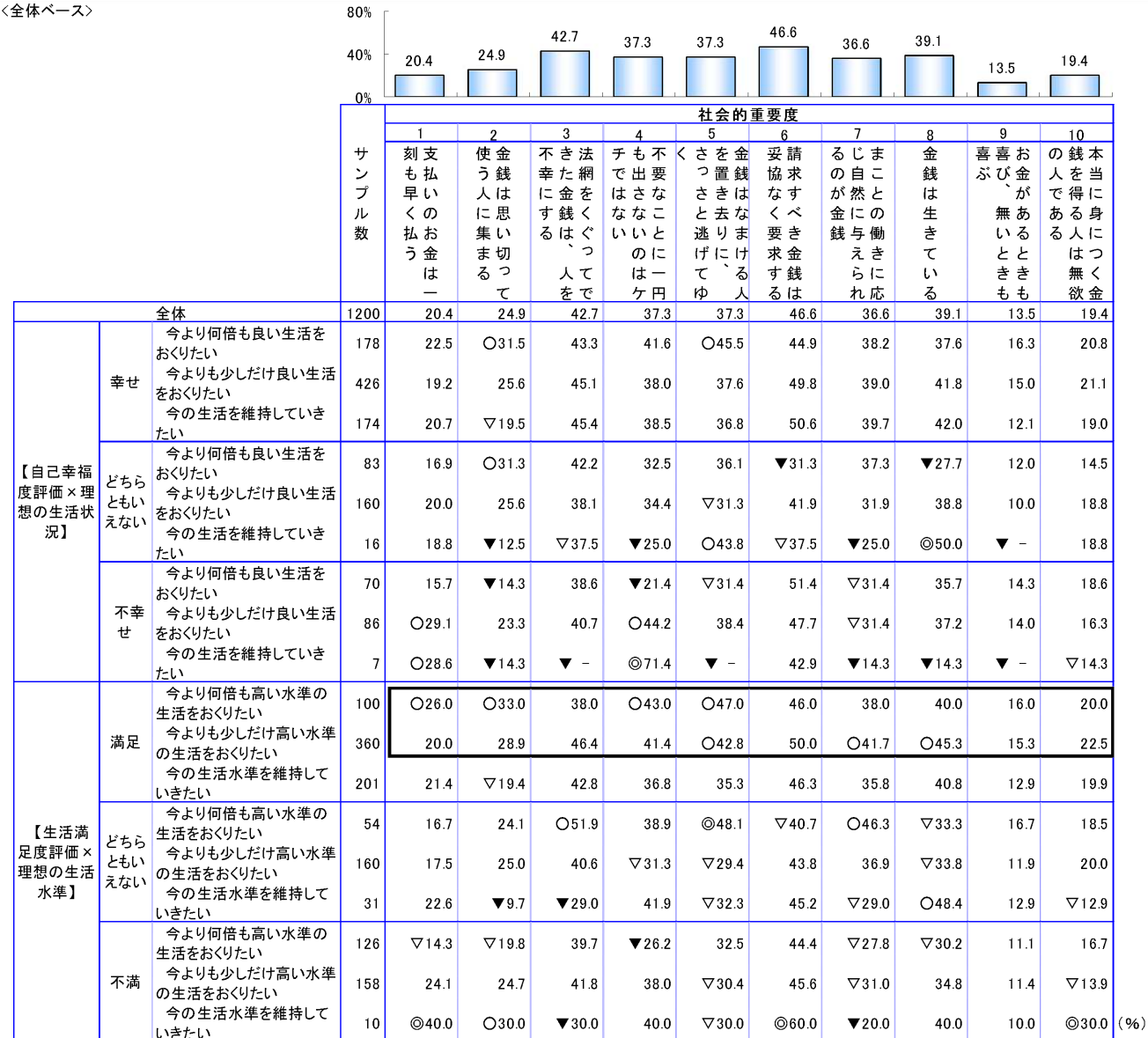


※表中の数値は倫理10コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」と回答した比率を表わす。

II-2. 倫理10コンセプト 社会的重要度 ②

■「満足×上昇志向層」の反応率が総じて高い。

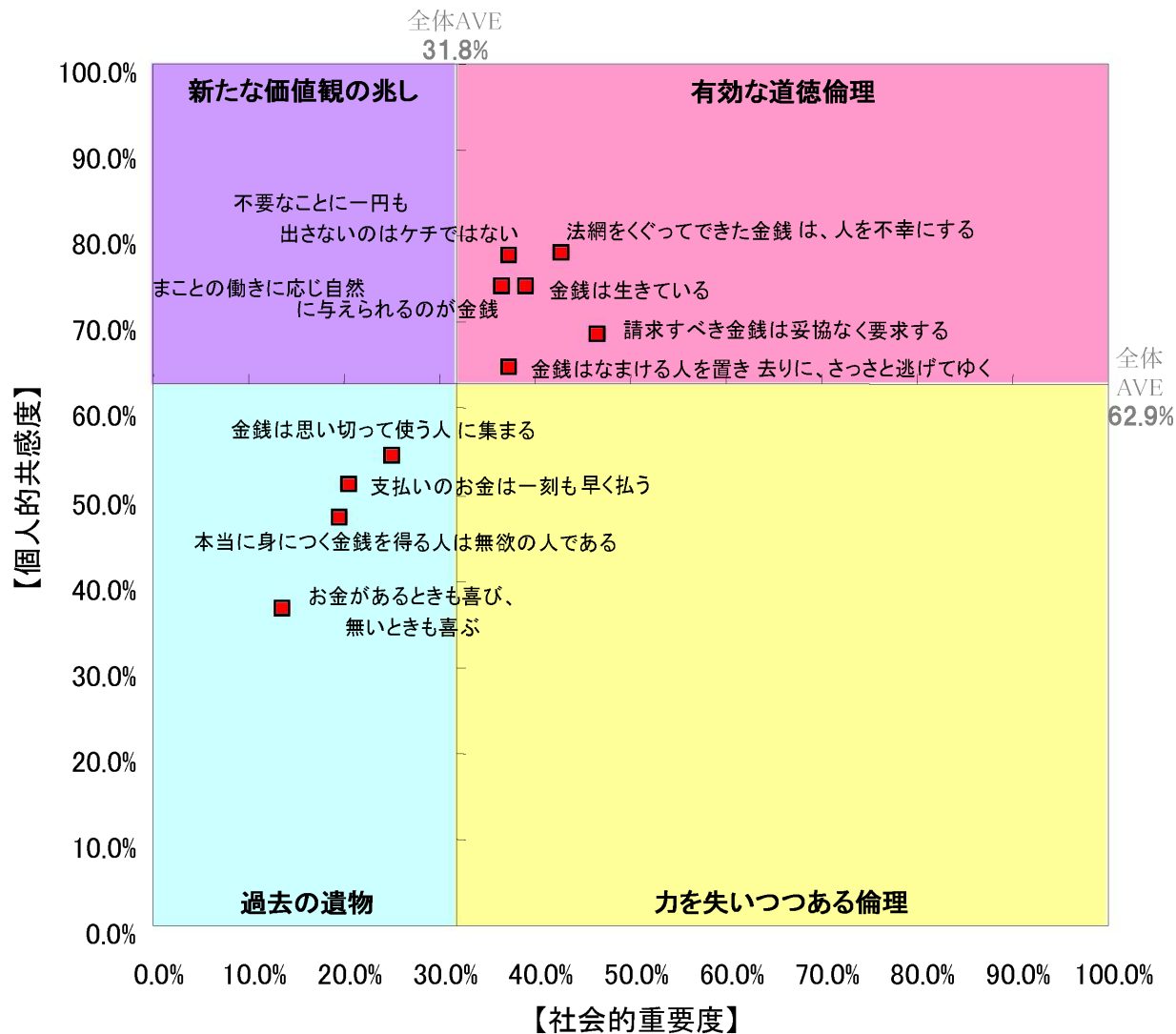
＜全体ベース＞



※表中の数値は倫理10コンセプトに対して「とても重要だと思う」または「まあ重要だと思う」と回答した比率を表わす。

Ⅲ-1. 倫理10コンセプト「個人的共感度と社会的重要度」ポジショニングマップ 全体(n=1200)

- 全体で見ると「法網をくぐってできた金銭は、人を不幸にする」「不要なことに一円も出さないのはケチではない」などが、現在でも『有効な道德倫理』とされている。
- 逆に、「金銭は思い切って使う人に集まる」「支払いのお金は一刻も早く支払う」などのコンセプトは『過去の遺物』とされている。

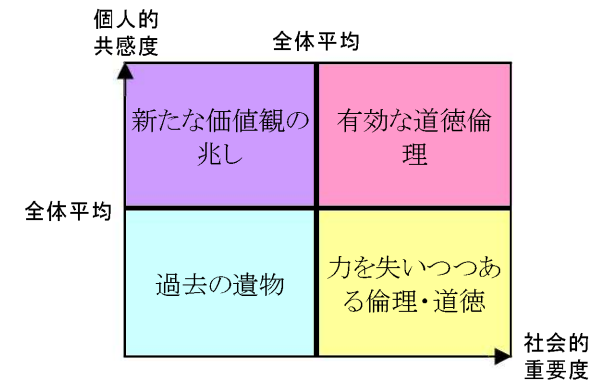


※表中のマーカのポジションは、倫理10コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」(個人的共感度)と回答した割合と、「とても重要である」または「まあ重要である」(社会的重要度)と回答した割合のそれぞれの平均値

IV-3. 倫理10コンセプト4象限分類 一覧表

個人的共感度 × 社会的重要度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		支払いのお金は一刻も早く払う	金銭は思い切って使う人に集まる	法網をくぐってできた金銭は、人を不幸にする	不要なことに一円も出さないのはケチではない	金銭はなまける人を置き去りに、さっさと逃げてゆく	請求すべき金銭は妥協なく要求する	まことの働きに応じ自然に与えられるのが金銭	金銭は生きている	お金があるときも喜び、無いときも喜ぶ	本当に身につく金銭を得る人は無欲の人である
【年代別】	10代	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	力を失いつつある倫理・道德	過去の遺物	過去の遺物
	20代	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	力を失いつつある倫理・道德	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	30代	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	力を失いつつある倫理・道德	力を失いつつある倫理・道德	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	40代	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	50代	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	60代以上	新たな価値観の兆し	新たな価値観の兆し	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
【お金倫理セグメント】	矛盾派	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	倫理派	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	道具派	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	力を失いつつある倫理・道德	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	拒否派	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	過去の遺物
	普通の人	過去の遺物	過去の遺物	有効な道德倫理	有効な道德倫理	過去の遺物	力を失いつつある倫理・道德	新たな価値観の兆し	新たな価値観の兆し	過去の遺物	過去の遺物

※個人的共感度×社会的重要度 4象限分類



お金で買えないもの／買うべきではないもの

※表中のマーカ―

◎印: 全体に比較して10ポイント以上高い

○印: 全体に比較して5ポイント以上高い

▽印: 全体に比較して5ポイント以上低い

▼印: 全体に比較して10ポイント以上低い

V-1. お金で買えないもの／買うべきではないもの(性年代・エリア・倫理セグメント①)

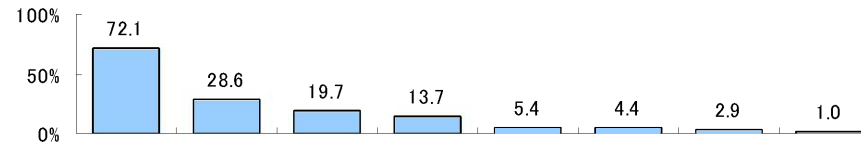
【性×年代別】

■「家族・信用・信頼・人間関係計」は、「男性10代」「女性20～30代」が全体と比較して10ポイント以上高く、「生命・自然計」は「女性40～60代以上」が全体と比較して高い点特徴的。

【お金倫理セグメント】

■「拒否派」において、「生命・自然計／時間・経験・運計」が全体と比較して5ポイント以上高い。

<お金で買えないものはあるベース>



		サンプル数	心・感性計	家族・信用・信頼・人間関係計	生命・自然計	時間・経験・運計	価値観・信念計	夢・目標計	身体能力・容姿(若さ)計	政治・権力計
全体		1157	72.1	28.6	19.7	13.7	5.4	4.4	2.9	1.0
【性×年代別】	男性計	578	68.9	27.3	18.2	15.9	6.6	5.0	3.1	1.4
	男性10代	99	▼58.6	◎40.4	▽12.1	○19.2	6.1	3.0	3.0	1.0
	男性20代	92	▽63.0	32.6	20.7	18.5	2.2	5.4	5.4	1.1
	男性30代	96	69.8	▼17.7	17.7	15.6	7.3	3.1	2.1	2.1
	男性40代	94	69.1	25.5	19.1	14.9	7.4	6.4	2.1	2.1
	男性50代	99	74.7	▽23.2	21.2	15.2	6.1	7.1	5.1	1.0
	男性60代以上	98	○77.6	24.5	18.4	12.2	10.2	5.1	1.0	1.0
	女性計	579	75.3	29.9	21.2	11.4	4.1	3.8	2.8	0.5
	女性10代	93	68.8	32.3	▽12.9	○20.4	1.1	3.2	5.4	1.1
	女性20代	95	71.6	◎43.2	▼9.5	11.6	3.2	3.2	1.1	1.1
	女性30代	98	75.5	◎38.8	22.4	12.2	1.0	3.1	4.1	-
	女性40代	97	◎82.5	24.7	○25.8	9.3	6.2	6.2	2.1	-
	女性50代	99	○78.8	▽22.2	○28.3	▽8.1	6.1	3.0	1.0	-
	女性60代以上	97	74.2	▼18.6	○27.8	▽7.2	7.2	4.1	3.1	1.0
【エリア別】	都市計	577	72.8	31.0	19.9	13.2	4.5	4.0	3.3	0.7
	地方計	580	71.4	26.2	19.5	14.1	6.2	4.8	2.6	1.2
【お金倫理セグメント】	矛盾派	172	72.7	▽21.5	▽13.4	12.8	5.2	5.2	3.5	0.6
	倫理派	250	71.2	30.8	18.8	13.6	4.4	2.4	2.8	0.4
	道具派	373	74.5	28.7	21.7	13.4	7.5	5.1	3.2	1.9
	拒否派	48	72.9	27.1	○25.0	○22.9	2.1	8.3	4.2	-
	普通の人	314	69.4	30.9	20.7	13.1	4.1	4.1	2.2	0.6

(%)

※表中の数値は「お金で買えないものはありますか」に対して「はい」と回答し、そのOAの比率を表わす。

V-1. お金で買えないもの／買うべきではないもの(性年代・エリア・倫理セグメント②)

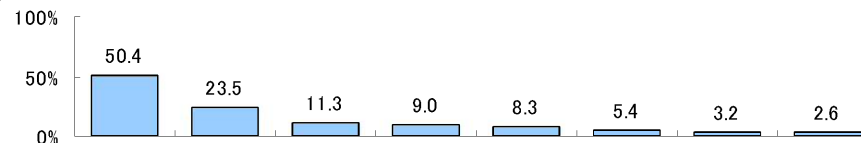
【性×年代別】

■「心・感性計」は「男女10代」が全体と比較して10ポイント以上低いが、「男女60代以上」では全体と比較して10ポイント以上上回っている点が特徴的。

【お金倫理セグメント】

■「家族・信用・信頼・人間関係計」において、「倫理派／拒否派」が全体と比較して高く、また「拒否派」は「反道徳的・反社会的行動計」が高い。

＜お金で買うべきではないものはあるベース＞



		サンプル数	心・感性計	家族・信用・信頼・人間関係計	反道徳的・反社会的行動計	生命・自然計	政治・権力計	価値観・信念計	夢・目標計	時間・経験・運計
【性×年代別】	全体	989	50.4	23.5	11.3	9.0	8.3	5.4	3.2	2.6
	男性計	480	48.5	23.5	12.5	8.5	8.1	5.6	2.7	3.5
	男性10代	77	▼40.3	○32.5	13.0	9.1	6.5	1.3	2.6	1.3
	男性20代	76	▼44.7	○30.3	11.8	6.6	9.2	5.3	2.6	3.9
	男性30代	77	▼44.2	24.7	10.4	10.4	5.2	6.5	-	5.2
	男性40代	74	▼43.2	23.0	10.8	6.8	10.8	4.1	6.8	4.1
	男性50代	82	51.2	▼14.6	○18.3	6.1	7.3	8.5	3.7	3.7
	男性60代以上	94	◎63.8	▼18.1	10.6	11.7	9.6	7.4	1.1	3.2
	女性計	509	52.1	23.4	10.2	9.4	8.4	5.1	3.7	1.8
	女性10代	74	▼35.1	○31.1	6.8	10.8	12.2	5.4	4.1	1.4
	女性20代	75	46.7	◎36.0	10.7	10.7	8.0	1.3	1.3	-
	女性30代	86	46.5	24.4	10.5	10.5	7.0	1.2	3.5	3.5
	女性40代	90	○57.8	▼16.7	11.1	7.8	10.0	5.6	4.4	2.2
	女性50代	94	○58.5	▼14.9	13.8	9.6	4.3	6.4	5.3	2.1
	女性60代以上	90	◎63.3	21.1	7.8	7.8	10.0	10.0	3.3	1.1
【エリア別】	都市計	489	48.7	24.9	9.6	9.2	8.2	6.7	3.3	2.9
	地方計	500	52.0	22.0	13.0	8.8	8.4	4.0	3.2	2.4
【お金倫理セグメント】	矛盾派	146	47.9	22.6	8.2	8.2	8.2	7.5	3.4	3.4
	倫理派	218	49.5	◎28.9	14.7	9.2	8.3	4.1	2.3	0.5
	道具派	319	52.0	20.1	12.2	10.0	10.3	5.6	3.4	1.6
	拒否派	45	46.7	◎28.9	○17.8	8.9	6.7	▽ -	2.2	4.4
	普通の人	261	51.0	22.6	8.0	8.0	6.1	5.7	3.8	5.0

(%)

※表中の数値は「お金で買うべきではないものはありますか」に対して「はい」と回答し、そのOAの比率を表わす。

V-1. お金で買えないもの／買うべきではないもの(自己幸福度×理想の生活／生活満足度×理想の生活水準①)

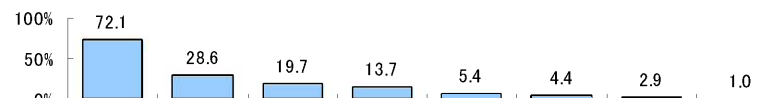
【性×年代別】

■「家族・信用・信頼・人間関係計」では、「どちらともいえない×今より何倍も良い生活をおくりたい」が全体と比較して高い。

【お金倫理セグメント】

■「生命・自然計」において、「不満×今より何倍も高い水準の生活をおくりたい」が全体と比較して高い。

＜お金で買えないものはあるベース＞



			サンプル数	心・感性計	家族・信用・信頼・人間関係計	生命・自然計	時間・経験・運計	価値観・信念計	夢・目標計	容姿・能力・若さ計	政治・権力計
【自己幸福度評価×理想の生活状況】	幸せ	全体	1157	72.1	28.6	19.7	13.7	5.4	4.4	2.9	1.0
		今より何倍も良い生活をおくりたい	166	70.5	31.9	18.1	15.7	3.6	3.6	4.8	1.2
		今よりもう少しだけ良い生活をおくりたい	419	73.7	31.7	17.4	16.7	6.4	4.1	3.3	0.7
	どちらともいえない	今の生活を維持していきたい	170	75.3	27.1	○25.9	9.4	4.1	6.5	2.4	-
		今より何倍も良い生活をおくりたい	79	▽64.6	○35.4	24.1	11.4	5.1	2.5	3.8	1.3
		今よりもう少しだけ良い生活をおくりたい	153	73.9	▽19.6	15.0	9.2	5.9	4.6	0.7	2.6
	不幸せ	今の生活を維持していきたい	16	◎87.5	▼-	○25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	-
		今より何倍も良い生活をおくりたい	65	72.3	▼18.5	20.0	15.4	3.1	3.1	4.6	-
		今よりもう少しだけ良い生活をおくりたい	82	▼61.0	○34.1	○25.6	11.0	7.3	6.1	-	1.2
		今の生活を維持していきたい	7	71.4	▼14.3	▽14.3	◎28.6	▽-	-	-	-
【生活満足度評価×理想の生活水準】	満足	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	90	▽66.7	30.0	20.0	14.4	3.3	2.2	3.3	1.1
		今よりもう少しだけ高い水準の生活をおくりたい	354	74.6	○34.5	16.4	13.8	5.1	4.0	3.7	1.1
		今の生活水準を維持していきたい	198	○77.3	25.8	24.2	11.1	5.1	5.6	-	-
	どちらともいえない	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	54	68.5	24.1	14.8	11.1	5.6	1.9	1.9	-
		今よりもう少しだけ高い水準の生活をおくりたい	154	74.7	24.7	15.6	13.6	8.4	5.8	1.9	1.3
		今の生活水準を維持していきたい	31	74.2	▼12.9	○25.8	◎25.8	3.2	3.2	○9.7	-
	不満	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	117	▽66.7	25.6	○25.6	14.5	2.6	4.3	4.3	1.7
		今よりもう少しだけ高い水準の生活をおくりたい	150	▽66.7	28.7	21.3	12.7	7.3	5.3	4.0	1.3
		今の生活水準を維持していきたい	9	▼44.4	33.3	22.2	◎33.3	▽-	-	-	-
	(%)										

※表中の数値は「お金で買えないものはありますか」に対して「はい」と回答し、そのOAの比率を表わす。

V-1. お金で買えないもの／買うべきではないもの(自己幸福度×理想の生活／自己満足度×理想の生活水準②)

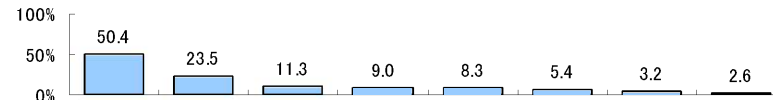
【性×年代別】

■「家族・信用・信頼・人間関係計」をみると、「不幸せ×今よりも少しだけ良い生活をおくりたい」が全体と比較して高い。

【お金倫理セグメント】

■「家族・信用・信頼・人間関係計」では、「満足×今の生活水準を維持していきたい」が全体と比較して低い。

〈お金で買うべきではないものはあるベース〉



			サンプル数	心・感性計	家族・信用・信頼・人間関係計	反社会的・反道徳的・反社会的・反道徳的・反社会的・反道徳的	生命・自然計	政治・権力計	価値観・信念計	夢・目標計	時間・経験・運計
全体			989	50.4	23.5	11.3	9.0	8.3	5.4	3.2	2.6
【自己幸福度評価×理想の生活状況】	幸せ	今より何倍も良い生活をおくりたい	139	49.6	27.3	12.2	10.1	8.6	4.3	2.9	2.2
		今よりも少しだけ良い生活をおくりたい	367	52.9	21.5	11.4	9.5	9.0	5.2	3.0	2.5
		今の生活を維持していきたい	157	54.1	▽18.5	13.4	9.6	7.6	7.6	3.8	3.2
	どちらともいえない	今より何倍も良い生活をおくりたい	61	▼32.8	27.9	13.1	11.5	8.2	3.3	4.9	3.3
		今よりも少しだけ良い生活をおくりたい	132	51.5	25.8	6.8	6.1	8.3	6.1	-	2.3
		今の生活を維持していきたい	12	○58.3	25.0	8.3	▽-	▽-	▽-	○8.3	-
	不幸せ	今より何倍も良い生活をおくりたい	54	46.3	24.1	13.0	▽3.7	5.6	1.9	5.6	1.9
		今よりも少しだけ良い生活をおくりたい	62	46.8	○30.6	11.3	12.9	6.5	8.1	3.2	4.8
		今の生活を維持していきたい	5	▼20.0	▼-	▼-	▽-	◎40.0	▽-	◎40.0	-
【生活満足度評価×理想の生活水準】	満足	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	75	53.3	20.0	12.0	9.3	6.7	5.3	1.3	2.7
		今よりも少しだけ高い水準の生活をおくりたい	310	53.9	25.2	10.6	8.1	8.7	4.8	3.5	1.9
		今の生活水準を維持していきたい	178	53.9	▽18.5	11.8	10.7	8.4	5.6	3.4	3.9
	どちらともいえない	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	43	▼34.9	◎37.2	9.3	7.0	4.7	7.0	4.7	2.3
		今よりも少しだけ高い水準の生活をおくりたい	135	47.4	20.0	13.3	10.4	8.9	7.4	3.0	3.0
		今の生活水準を維持していきたい	24	▽41.7	○29.2	8.3	8.3	4.2	8.3	○8.3	4.2
	不満	今より何倍も高い水準の生活をおくりたい	91	▽44.0	26.4	14.3	7.7	12.1	1.1	3.3	2.2
		今よりも少しだけ高い水準の生活をおくりたい	125	48.8	24.8	9.6	8.8	6.4	6.4	2.4	2.4
		今の生活水準を維持していきたい	8	◎62.5	▼12.5	▼-	12.5	12.5	▽-	-	-

(%)

※表中の数値は「お金で買うべきではないものはありますか」に対して「はい」と回答し、そのOAの比率を表わす。